

## まい研

2008年  
5月7日  
第28号

まいづる市民自治研究所 / まい研

〒624-0822 舞鶴市字七日市 322-8 (品田茂宅)

Tel &amp; Fax 0773(75)5753

E-mail 1945ss@dance.ne.jp

「まい研」第12回定例会

地域経済の活性化をめざして

## 中小企業から年1500件の相談があります！

～ 渡辺明彦さん(舞鶴商工会議所・中小企業相談所長)～

「まい研」の第12回定例会は4月22日(火)、商工観光センターで、「商工会議所の役割と地域経済の現況と課題」と題して、舞鶴商工会議所・中小企業相談所長の渡辺明彦さんからお話を聞かせていただきました。最初にびっくりしたのは、中小企業相談所には舞鶴市内の中小企業から年間1500件もの相談があるそうです。内容は、融資、特許、振興策、広報など多岐にわたり、中小企業にとっては頼りになる存在であります。いろんな相談を親身に受けておられる渡辺さんのお人柄でしょうか、具体的な事例でやわらかく、ざっくばらんなお話しに引き込まれているうちに予定の時間になりました。充実した学習会でした。



具体的な事例で説明する渡辺さん(中央)

さて、舞鶴商工会議所(上西勝己会頭)

は、会員数約1200事業所で市内事業所の三分の一が加盟しています。設立目的は「地域の商工業者の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域の総合経済団体として、業種、業態、規模の大小に関わらず、市内の商工業者の利益を図るとともに地域経済の振興、発展や社会福祉の増進に資すること」を目的にしています。

平成20年度の事業としては、政策提言活動の強化、中小企業の活力強化と地域活性化への支援、商工会議所の組織運営の強化など3点を柱に活動されるそうです。

例えば、地域商店街で意欲的な経営者を支援していく事業です。

小売業も地域経済も厳しい状況が続いています。「でも、汗水流して、知恵出してがんばっていかないと・・・」そのためにも「発想の転換とアイデア出しのきっかけづくりをしていきたい」と語られる渡辺さん。私たち「まい研」も地域の活性化のために共に汗をかかなくては、と切実に感じた定例会でした。

## 「まい研」の第13回定例会の案内

1. 日時 6月24日(火) 19:00～21:00
2. テーマ 若狭湾生物同好会の設立目的と活動紹介
3. ゲスト 坂根康弘さん(若狭湾生物同好会事務局長)
4. 会場 西駅交流センター2F 会議室1

「行け行け！かまぼこ調査隊」レポートNO1

## 「かまぼこ地域調査についての説明会」を開きました！！

### かまぼこを深く知り、かまぼこ舞鶴への愛着を深めたい！（品田代表）

4月27日（日）、14人が参加して西駅交流センターで「かまぼこ地域調査」についての説明会を開きました。

今回のかまぼこ調査は、「まい研」の初めての地域調査活動であり、私たち舞鶴市民自身が、地域を調査することをつうじて、舞鶴を深く知り、舞鶴への愛着を育むことが目標です。そして、地域調査により得られた結果を分析し、地域振興につながるような政策提言を行うことをめざしています。5、6月に文献調査と聞き取り調査等を行い、7、8月に分析と報告書を作成し、9月23日に「調査結果報告会」を開催します。

### 舞鶴のかまぼこ（舞鶴蒲鉾協同組合参事 辻義雄さん）

今回の地域調査をスタートするにあたって、かまぼこ博士の辻さんに「舞鶴とかまぼこ」と題して、舞鶴かまぼこの基礎を講義していただきました。舞鶴の板かまぼこの製法上の特徴のひとつは、地場および近海の鮮魚を毎日加工して「生すりみ」を共同加工し、それを組合員に供給していることだそうです。かまぼこの歴史、原料、かまぼこを取り巻く状況など、辻さんの具体的でわかりやすい説明は、私たちの地域調査への意欲をかきたててくれました。

### かまぼこの試食会

参加者の皆さんに、嶋七、高作、藤六、嶋岩の特選かまぼこを試食していただきました。「やっぱり！美味しい！！」「このかまぼこはコシが強いなあ」「さかなの良い香りがするなあ」など、にぎやかでした。9月の調査報告会では、皆さんのかまぼこに対する愛情はもっと深く広いものになっていることでしょう。

### 地域調査のススメ（京都大学大学院 大貝健二さん）

大貝さんからは、地域調査の方法とポイントについて説明していただきました。肝心なことは、「何かを知りたい！」という好奇心だそうです。大貝さんには、これから様々なご指導をしていただきます。

### 次回は、5月11日（日）に集まります。

説明会のまとめとして、「今回の地域調査で何が知りたいか」を皆さんに語っていただきました。

「安全性の面から練り製品には抵抗感があるので今回の調査で自分の不信感を払拭したい」「かまぼこの体験型観光施設ができないだろうか」「食べ方のバリエーションを知りたい」「かまぼこの地域経済への影響力を調べたい」など多数の要望が出されました。

次回の会議では、調査内容と調査先リストをみんなでつくります。調査にはたくさんのお手が必要で、今回参加できなかった方もぜひご参加ください。お待ちしております。



左から品田さん、大貝さん、辻さん

### 次回の「かまぼこ地域調査」の案内

1. 日時 5月11日(日)13:30～17:00
2. 会場 西駅交流センター 2F会議室1
3. 内容 「かまぼこ地域調査」の調査票づくり

